2 吹下管第 566 号
令和 2 年 8 月吉日
（2020 年）

関係者各位

吹田市　下水道部長　竹嶋 秀人
（公印省略）

# 吹田市下水道事業 老朽化対策に伴う官民連携 アンケート調査への協力依頼

平素は、本市下水道事業に御理解、御協力いただきありがとうございます。本市下水道事業は、昭和34 年に着手し、60 周年を迎えることできました。長い歴史がある一方で、本市の下水道管路は老朽化が進んでおり、その対策が急務と考えています。

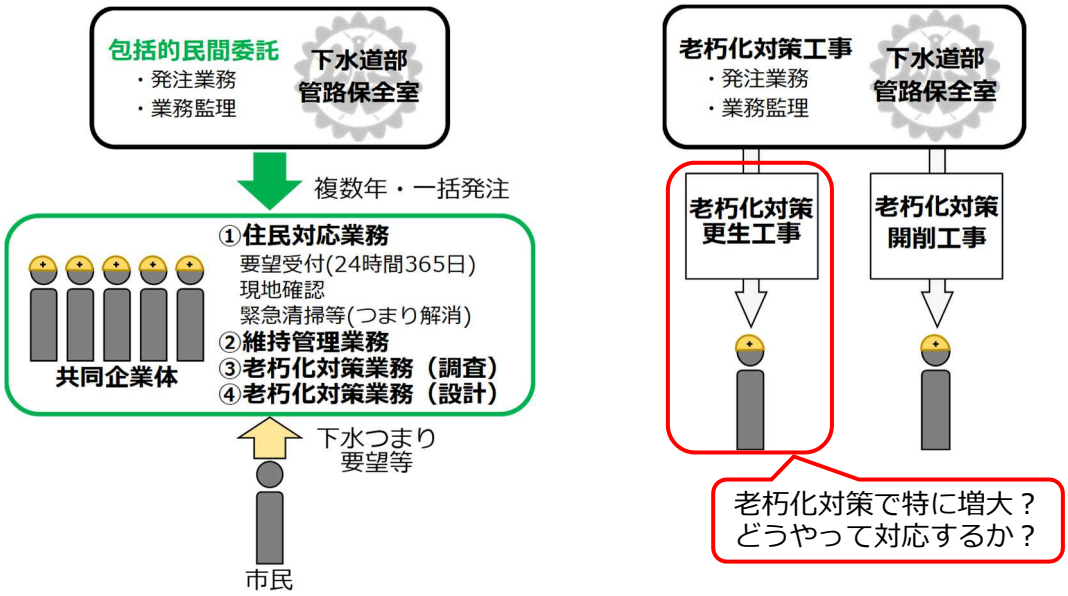
今後の老朽化対策を円滑に実施するために、地域事業者との官民連携のあり方について研究しています。そこで、関係者の皆様の御意見を広く聞かせていただきたく、アンケート調査を実施しますので、御協力のほどお願いいたします。

## 1.吹田市下水道管路施設の現状と課題

吹田市内の下水道管路は、現在約835kmありますが、その内、老朽管（標準的な耐用年数の50年を経過した管路）は、既に約22%です。10年後には約38%まで増加し、今後も老朽化が進みます。これらの老朽化対策を円滑に実施する官民双方の体制が必要となることが課題です。

## 2.これまでの検討経緯

本市では、老朽化対策の内、維持管理（住民要望対応+調査）と設計は「管路の包括的民間委託」として、令和 3 年 4 月から委託を開始予定です。これにより、維持管理については、官民の実施体制を確保し、課題は解決に向けて進むと考えています。一方で、老朽化対策の工事については対策方針が未定でした。




(1)管路の包括的民間委託　　(2)老朽化対策工事

下水道管路施設の老朽化対策　業務イメージ図

## 3.これからの老朽化対策の変化

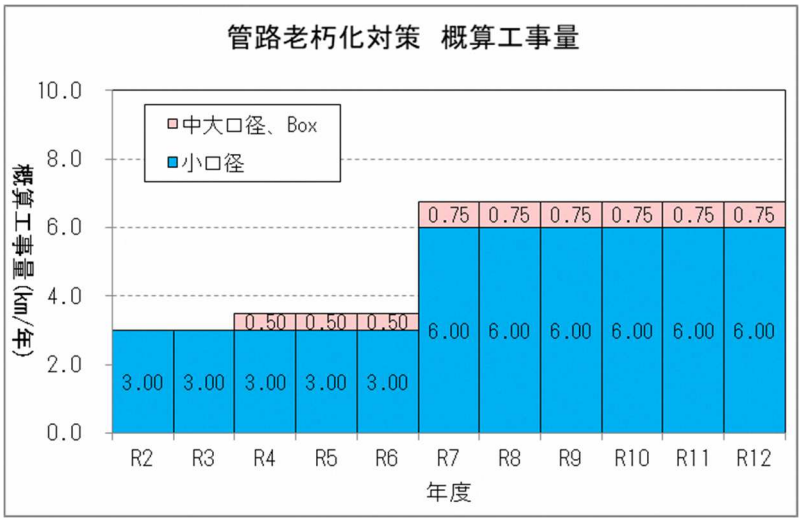
### （1）工事量増大と施工口径の変化

老朽化対策の事業量は、これまでは主に小口径管きょを対象とし、平均で年間約 3km 発注してきました。今後は、下表及びグラフに示すとおり、増大していくことが想定されます。また、中大口径管きょ及び Box カルバートの施工が増えていくため、これまでの小口径管きょを対象とした管更生工事に加えて、施工口径の対象範囲が広くなります。

【管路老朽化対策　概算工事量】

(km)

| | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小口径 | 3.00 | 3.00 | 3.00 | 3.00 | 3.00 | 6.00 | 6.00 | 6.00 | 6.00 | 6.00 | 6.00 |
| 中大口径、Box | 0.00 | 0.00 | 0.50 | 0.50 | 0.50 | 0.75 | 0.75 | 0.75 | 0.75 | 0.75 | 0.75 |
| 合計 | 3.00 | 3.00 | 3.50 | 3.50 | 3.50 | 6.75 | 6.75 | 6.75 | 6.75 | 6.75 | 6.75 |

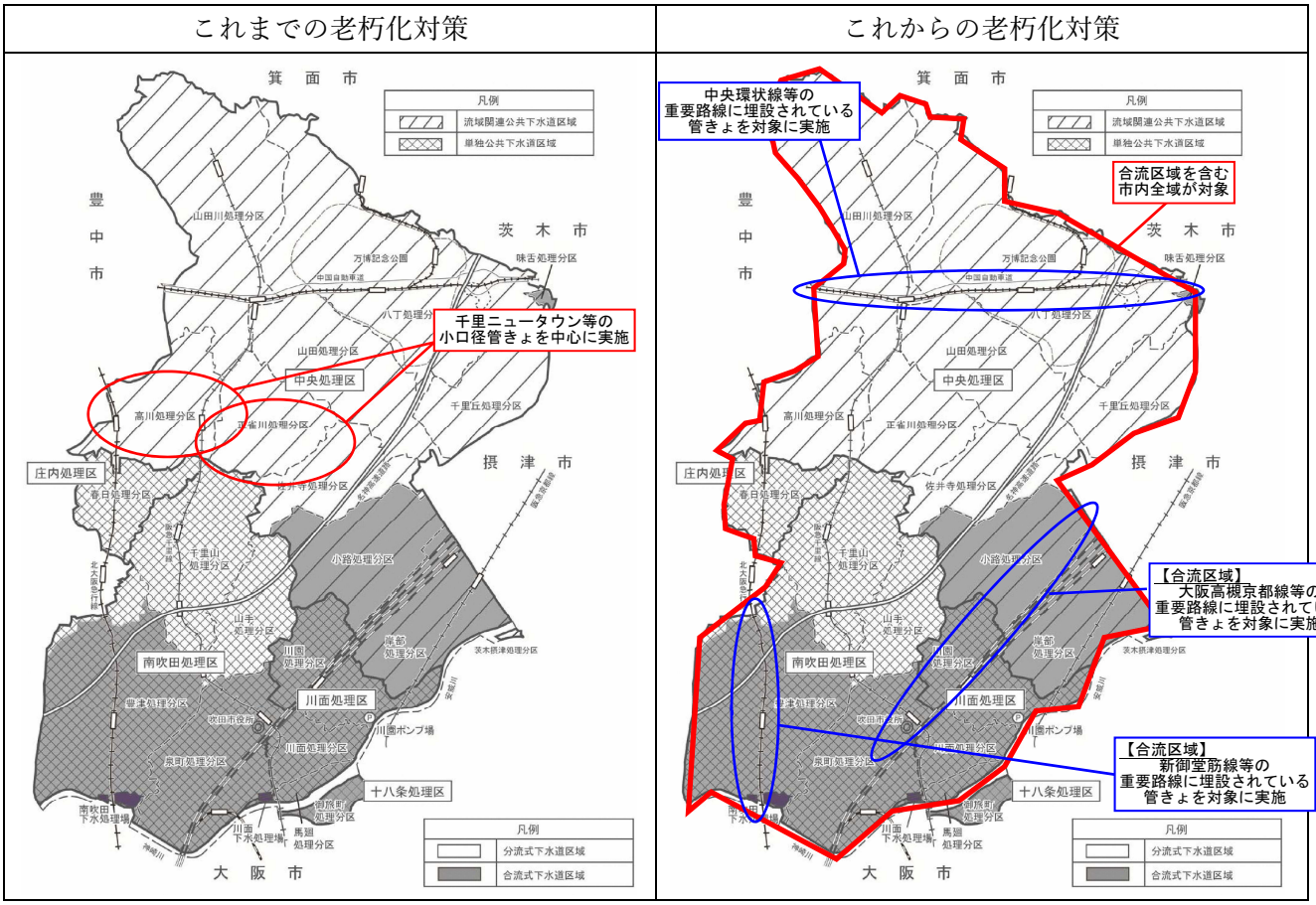



※工事量は想定値

**下水道管路施設の老朽化対策　工事量推移グラフ**

### （2）対象区域の拡大に伴う施工条件の変化

これまでの老朽化対策は、千里ニュータウン等の小口径管きょを対象として実施してきました。これからの老朽化対策は、市内全域を対象とすること、緊急輸送路等の幹線道路に埋設されている管きょも対象となります。したがって、合流区域を含み、施工時間帯や施工時における安全確保等の施工条件が変化し、これまでよりも難易度が高い施工が想定されます。




※上記は現時点での計画図である

**下水道管路施設の老朽化対策　対象区域の推移図**

## 4.老朽化対策を進める上での課題

本市では、老朽化対策を含めた下水道事業を進める上でも、災害等の有事に対応する上でも、地域事業者の存在が欠かせないと考えています。一方で、老朽化対策を進める上では、官民双方のヒト不足と高齢化が課題であると考えています。

**吹田市の課題**

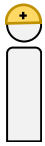
・老朽化対策に伴う事業量の増大

・市職員の不足と高齢化

⇒事業の発注と執行が困難

⇒老朽化の加速

**地域事業者の課題？**



・建設業就業者数の減少

・今後の高齢者の大量離職

⇒将来の担い手不足が懸念

解決の方向性

**「官民双方のヒト（担い手）の確保」**

**「地域に合わせた発注手法」**

が必要ではないでしょうか。

**老朽化対策に伴う官民の課題と解決の方向性　イメージ図**

## 5.アンケート調査の実施

本市では、市民への下水道サービスを継続的かつ安定的に提供できるよう老朽化対策を円滑に進めることを目的に、国土交通省の支援を得て、本市と地域事業者との官民連携のあり方を研究することとしました。本市の課題を解決するとともに、本市を「モデル都市」として、本市での研究結果を各自治体に横展開するものです。

本市における老朽化対策を進める上での課題解決に向けて、まずは、アンケート調査を実施します。本調査では、老朽化対策の内、特に業務量が増大すると予測される「管更生工事」の事業者（本市の管更生工事の入札参加条件を有している事業者）を対象にしております。詳細は、別紙を御確認願います。

お手数おかけいたしますが、御協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

## 6.アンケート内容に関する説明会

本アンケートの内容について、本市からの説明会を下記のとおり開催いたします。なお、本説明会に出席しなくても、アンケート調査には回答できます。

日　　時：令和 2 年 9 月 10 日（木）　①14：00～14：30　又は　②15：30～16：00
新型コロナウィルス感染拡大防止のため、参加人数によっては、開催を 2 回に分けます。
開催時間の詳細は、参加希望者に対し、後日ご連絡いたします。

会　　場：未　定　※参加希望者に対し、後日ご連絡いたします。

参加連絡：説明会に参加希望の方は、9 月 4 日（金）12：00 までに「8.アンケート回答・お問い合わせ先」へご連絡願います。

備　　考：新型コロナウィルス感染拡大防止のため、説明会会場への出席は、各社 1 名ずつでお願いいたします。ただし、2 名以上参加希望の場合や当日会場にお越しいただくことができない方には、Zoom 等を用いた WEB 会議にも参加いただけます。希望される場合は、参加希望連絡の際にお申し出ください。

備 考　2：本説明会は、アンケート対象事業者以外の事業者の方にもご参加いただけます。詳細は、本市管路保全室 HP で公表します。

## 7.アンケート回答期限

9 月 17 日（木）17：00 までに、以下のお問い合わせ先までにメールにてご回答願います。

## 8.アンケート回答・お問い合わせ先

本アンケート調査においては、下記の調査会社に協力を依頼しております。アンケートの回答・説明会への参加連絡、アンケート内容に関するお問い合わせにつきましては、下記連絡先までお願いいたします。

調査会社　：（株）日水コン
担　　当：下水道事業部　西部事業マネジメント部　技術第一課　伊藤、大塚
電話番号：06-6339-7429　mail：　ito_ma@nissuicon.co.jp／otsuka_r@nissuicon.co.jp

## 9.本アンケートの取扱い

本アンケート調査結果は、本市の官民連携の検討に用いるほか、国土交通省のホームページ等に公表される予定です。その場合、企業名や企業を特定できる情報は伏せて公表いたします。

**以上**